

## 重要回覧

花の季台自治会員の皆さまへ

平成28年4月28日

自治会長 桑田信介

### 連載「生け垣の手入れ入門」スタート

自治会はこのたび、初めて試みる回覧連載「生け垣の手入れ入門」をスタートさせました。本年度の重点事業である「生け垣保全」とタイアップした、楽しい知り得の連載をほぼ1年にわたって皆さまにお届けします。

当団地の街並み景観を形作る生け垣は今、大きなピンチに立たされています。団地分譲開始から18年が経過しましたが、手入れ不足は年々深刻の度合いを増しています。せっかく築き上げた美しい景観が失われ、子や孫の代へと引き継がれないかもしれない状況です。そうになると、単に世帯だけの問題にとどまらず、団地全体にとっても大きな損失です。

自治会では、公募などに応じてもらった会員有志をメンバーに、保全と再生へ向けた基本プランを作る「生け垣保全委員会」を5月10日に立ち上げます。私有財産である生け垣の保全と再生に自治会が乗り出すことは、全国的にもあまり例がないそうです。険しい道のりが待っていますが、例え一歩、二歩でも踏み出さない限りは、何も展望は開けません。

連載「生け垣の手入れ入門」は委員会の論議と時にリンクしながら、季節ごとに必要な日常の管理・手入れのポイントを分かりやすく伝えていきます。執筆はD街区にお住まいの造園士米田栄暉（えいき）さんが担当します。

米田さんは42年勤め上げた会社を定年退職後、まったく畑違いの道を目指して猛勉強の末、16年前に見事資格を取得されたそうです。本年度の文化部副部長を務めつつ、生け垣保全委員会メンバーとしてプランづくりに関わってもらいます。かねてから生け垣の現状に強い危機感を抱かれていました。これまで無関心で放置するままの若い世代が目を向けてくれれば「執筆のしがいもある」と、熱い思いを述べておられます。

連載第1回はお手元に届けた「ツツジの剪定」です。来年の花付きを良くするためには、花が終わったら間髪入れずに剪定することが重要だそうです。以降は梅雨時の害虫対策、夏場の重労働である水やりの仕方などを順次、ワンポイントアドバイスをまじえて解説します。今後も楽しみにしてください。

なお、連載は近く本格再開する自治会ホームページ（こむねっと ひろしま）でも見られるようアップします。取り上げてほしいテーマがありましたら、できるだけリクエストに応じるそうです。下記のところへ連絡してください。

◇連絡先 桑田 ☎848-4361、携帯 090-2297-5234

PCメール s.kuwada@hikat.ne.jp